

# 株主の皆さまへ

取締役社長

貸谷伊知郎



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第103期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

世界経済を概観しますと、インフレ圧力は緩和しつつあるものの引き続き高い水準で推移する物価上昇率や、高止まる金利水準などを背景に世界経済の減速が懸念され、先行き不透明な状況は今後も続くものと予想されます。

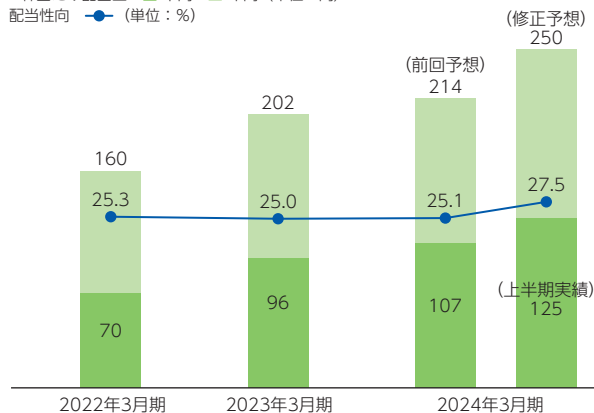
このような環境下においても変化を更なる成長のチャンスと捉え、リーンな経営を徹底し、新しい分野へのチャレンジを推進したことにより、豊田通商グループの当上半期の業績は、売上総利益は5,205億円、営業活動に係る利益は2,331億円、また当期利益（親会社所有者帰属）は前年同期比265億円増益の1,777億円となりました。なお、7月28日に公表しました通期業績予想に関し、当上半期の実績及び今後の見通しを踏まえ、10月31日に再度業績予想の上方修正を実施しております。

## 株主還元方針

この度、株主還元方針を改め、『2024年3月期から2026年3月期において、累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成。加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ、追加的に機動的な総還元策を検討する。』といたしました。これにより、これまでの13期連続増配に加え、今後3年間で累進的に増配することで16期連続増配を目指します。成長への投資の手を緩めず、強固な財務体質も堅持しながら株主還元拡充にも目を向け、バランスの取れたキャッシュアロケーションを実践します。2024年3月期の配当金については、株主還元方針に則り、通期の当期利益（親会社所有者帰属）が現状の見通しである3,200億円となった場合には、1株当たり250円（前期比48円増）となる見込みです。

## 1株当たり配当金／配当性向

1株当たり配当金 ■ 中間 ■ 年間（単位：円）  
配当性向 ●（単位：%）



配当金につきましては、新しい株主還元方針を10月31日に公表いたしました。この方針に則り、中間配当金は1株当たり125円、支払開始日を11月27日とさせていただきました。また、同様に期末配当金は125円とし、これにより1株当たりの年間配当金は前事業年度に比べて48円増配の250円となる見込みです。株主の皆さまに安心して株式を保有いただけるよう、今後3年間において安定的な累進配当及び更なる還元の拡充を目指してまいります。

これからも変革を追求する一方で、私たちが失ってはいけない豊田通商グループのDNAや挑戦する風土を次の世代に伝えていくためには、「対話＝ダイアログ」が重要であり、社内外とのダイアログを継続しています。

社外のステークホルダーとのダイアログに関しては、「現地・現物・現実」を心掛け、取引先の皆さまと密なコミュニケーションを継続してきました。これからは、コロナ禍によって直接お話しさせていただく機会が少なくなっていたかもしれない株主の皆さまや投資家とのダイア

ログも強化していきたいと考えています。そしてダイアログを通じて得た、豊田通商グループをさらに良い企業・強い企業にしていくための強みや課題といった多くの示唆を事業戦略や財務戦略に反映することで、資本市場に対しても責任を果たす経営を行ってまいります。

私たちはサステナブルな成長を通してステークホルダーにとって唯一無二の存在、すなわち「Be the Right ONE」の実現を目指します。新たな責任や役割を担う豊田通商グループの新たな挑戦についてご理解を深めていただけますと幸いです。

豊田通商グループをご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

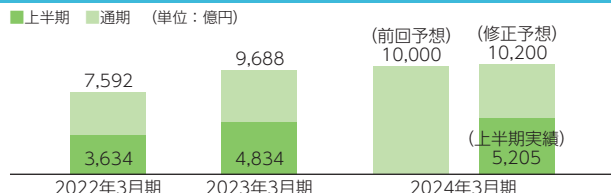
2023年11月

## 財務ハイライト (連結)

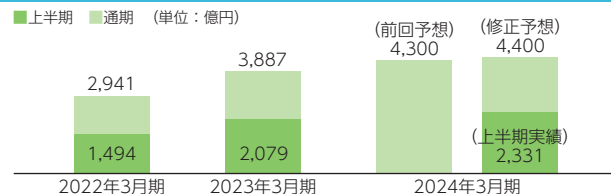
### 当上半期連結業績

当上半期の当期利益（親会社所有者帰属）は1,777億円となり、上半期の実績として過去最高を更新いたしました。また、今後の見通しを踏まえ、10月31日に通期業績予想の修正を実施しております。

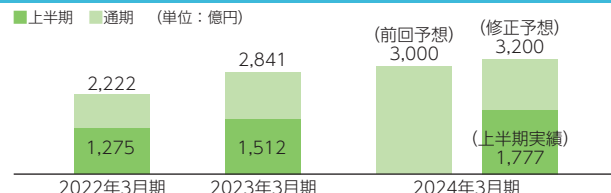
### 売上総利益 5,205億円 (前年同期比7.7%増)



### 営業活動に係る利益 2,331億円 (前年同期比12.1%増)



### 当期利益 (親会社所有者帰属) 1,777億円 (前年同期比17.5%増)



決算の詳細はこちらよりご覧いただけます

